

令和3年度 ガイドライン評価改善シート

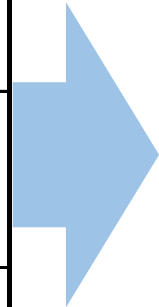
施設名 (まつもと園)

作成日時 (令和3 年 10月 6日)

代表	施設長	本部
印		

R2年度 改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズに寄り添えるよう、面談や、電話、メール相談を通して、前向きに、協同して話合える関係を築く ・支援内容の変更は、必要な時に随時行う（保護者の方に随時お知らせする） ・お子様と一緒に参加できるワークショップを企画。同じ時間帯で、来られる方同士、交流の場として提供できれば行いたい。 ・活動プログラムの説明、案内(実際の様子を動画で伝える等)の整備
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の障がい特性に合わせた環境作り、活動内容を提供します。 ・合理的配慮と安全を念頭に置き、利用児、保護者に寄り添い、明確な支援をしていきます。

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置、専門性は適切である 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の活動スペースに関して、十分に確保できているが、狭い印象を持たれている。活動を見ていただく機会がなく、十分にお伝えできない場面がある。 ・スタッフの人数、名前、顔の表示がなく、不安に思われている。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善のためのP D C Aサイクル、及び、職員の資質向上のための研修に、職員が積極的に参画している ・保護者アンケートの結果を踏まえて、業務改善につなげている。 	<p>特になし</p>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保護者のニーズに沿って放課後等デイビス計画が作成されている。 ・放課後児童クラブや、児童館との交流や、障がいの無い子供との交流ができていない ・活動プログラムは、利用者さん本人に合わせて工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの固定化しないように工夫しているかわからない意見が少数いる
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携を取り、支援に反映している ・面談や、育児に対する助言等の支援ができています ・日頃から子どもの状況を伝え合うことができ、共通理解ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策により、玄関での引き渡しになり、中の様子が伝わりにくい
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項、利用者負担の丁寧な説明ができています ・面談や、送迎時のお話、メールを通じ、支援内容、根拠の説明ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携支援が難しい
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの周知、説明ができています ・災害時に備えた訓練ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーに対する医師の指示書をいただいていない



分析検討してみたの事業所の強み	分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・個別の対応ができています ・子どもの表出や、成長を実感、保護者の方と共感できている ・ニーズや、課題のレベルの把握が、学校、保護者とできて、保護者の方の安心につながってきている ・職員が真剣に、前向きに利用児の課題に向き合っている ・専門職の外部コンサルタントや、研修内容を現場で展開できている。保護者の方にもお伝えできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を伝えきれていない。 ・スタッフの人数、紹介がされていない
事業所の改善への取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・玄関にスタッフの紹介を表示する ・活動プログラムの説明、案内(実際の様子を動画で伝える等)の整備（ラインワークスの活用） ・連絡ノートに活動内容を具体的に記入し、伝えることの徹底 ・保護者受け渡し時に、担当したスタッフが報告をする ・全スタッフのレベル向上のための勉強会、ミーティングの機会を増やす（月1→月2） 	
自己評価を行っての事業所としての感想など	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報が圧倒的に保護者の方々にお届けできていないと感じる。 ・ラインワークスを最大限に活用して、個々への発信をしていきたいと感じた。 ・面談等、保護者の方と、良い関係が気づけてきていることを実感する。 <p>合理的配慮を念頭に置き、これからも、保護者の方とのコミュニケーションをとり続けられるようにしたい。</p>	

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応、合理的配慮、安全を念頭に置き、QOLの向上につながる支援をしていきます。 ・面談、ラインワークス等を活用し、保護者方々の安心につながるコミュニケーションを行います。 ・スタッフのスキルアップのための研修機会を増やします。
----------	--